



援助者必携

はじめての精神科 第2版

春日武彦 = 著

定価 1995 円(本体 1900 円+税 5%)

医学書院 ☎ 03-3817-5657

初版から7年、「援助者としての我々の仕事はもっとも楽にはならず、むしろより厄介で戸惑う事例が増えつつある(序文より)」。読むうちに、「カスガ先生」の診察室の見学者が、相談者になったような、不思議な納得感に包まれる。「こうすればうまくゆく」という正解を書いた本ではない。「我々の武器は誠実・真摯・品性である」と心得るべきです」との姿勢に貫かれ、「世の中で一人でも多くの人間が心にゆとりをもち、安心して暮らしていける」(ともに本文より)ことはすばらしいという思いを共有させてくれる本である。

あなたの家族が

「もしかしたら認知症かも!？」
と思ったとき読む本

内田千恵子 = 著 今井幸充 = 医学監修

定価 1575 円(本体 1500 円+税 5%)

すばる舎 ☎ 03-3981-8651



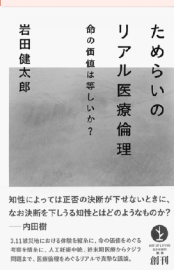
親や配偶者の認知症……信じたくない気持ちと、心配する気持ちが揺れ動き、発見や対応が遅れがちになる。著者の豊富な経験から事例を交え、「もしかしたら……」と思うときの判断の仕方をアドバイス。受診から介護サービスの利用についての実際と、家族ケアのポイント、病気の上手な付き合い方を介護・医療のプロが教える。

ためらいのリアル医療倫理
命の価値は等しいか？

岩田健太郎 = 著

定価 3465 円(本体 3300 円+税 5%)

技術評論社 ☎ 03-3513-6150



気鋭の感染症医から届いた、医療倫理の論考。医療の世界にふさわしい語り口があると僕は思う(はじめに)と問いかける著者は東日本大震災では、自宅に留まることを選択した人たちの支援・実態調査に携わった。「命の価値は等しいか?」の副題は刺激的だが、さまざまな価値観をもつ人々との対話を通して、命を扱う医療者の心に「ためらい」を問いかける。

リエゾンナースと考える

「困りごと」にどうかかわるか

武用百子 = 編著

定価 2415 円(本体 2300 円+税 5%)

ナースツールズ ☎ 03-3953-7033



リエゾンナースの仕事は、これだけいいのかという看護師たちの(中略)「不確かさ」を『確か』なものに変えていくお手伝い(序文より)。臨床現場でぶつかる「困りごと」を例に、コンサルテーションのプロセスが語られる。かわる人への配慮にあふれた、「かわり」のプロ、リエゾンナースならではの知恵満載。

触れる・癒す・あいだをつなぐ手
TE-ARTE(て・あーて)学入門

川島みどり = 編

定価 3360 円(本体 3600 円+税 5%)

看護の科学社 ☎ 03-3943-0244



手のもつ力を実感する医療・看護の達人たちが、手の効用を実証しようとして、経験を持ち寄り、研究を重ねた。医療の高度化に伴い器械の操作法の習得、データの読み方のマスターに追われ、モニターばかりを気にしてはいないかと警鐘を鳴らす。病院から在宅へ、施設へと看護の守備範囲が広がる今、「手」というツールの見直しを!